



読書アンケートへのご協力ありがとうございました。鋭意集計中です。また、現在図書館では、次回の購入に関するアンケートを受け付けています。用紙と回収BOXは図書館前・昇降口に設置してありますので、どしどしご応募ください。締め切りは9月30日（水）です。

アンケートで入った本

参考までに、購入アンケートで入った本を、極一部ですが紹介します。



『汚れつちまつた悲しみに……』
中原中也 著
KADOKAWA

天折の天才詩人・中原中也の作品を、「生きる」「恋する」「悲しむ」を軸に精選。人気コミック『文豪ストレイドッグス』とのコラボカバ一本。



『orange』

高野莓 原作
蒔田陽平 ノベライズ
双葉社



高校2年生の春、10年後の自分から1通の手紙が届いた。「10年後の今、翔はここにはいません。翔の事をしっかり見ていてあげてください」——。実写映画のノベライズ。



『プラタモリ6』
NHK「プラタモリ」制作班 監修
KADOKAWA

人気街歩き番組が書籍化。6巻には松山・道後温泉・沖縄・熊本が収録されている。



『数学ガール』

結城浩 原作
春日旬 茉崎ミユキ 作画
メディアファクトリー



高校生の「僕」が数学ガールたちと数学に取り組む物語のコミカライズ。

いちばん心に残っている本

ペンネーム 焼きたらこ

私が一番心に残っている本は、上橋菜穂子さんの『獣の奏者』（講談社）です。



理由は2つあり、1つ目は、主人公エリンの母が殺されてしまうのをエリンが助けに行ったシーンです。母のソヨンは世話をしていた戦闘の為の獣「闘蛇」を死なせた罪に問われ処刑される事になるのですが、幼いエリンが母を助けに行く場面は胸が痛みました。

2つ目は、エリンが成長するに従って謎が次々と説かれていく場面です。エリンは母と同じ獣ノ医術師を目指すのですが、ある日1つの村で闘蛇が死ぬという母の時と同じ事が起こります。その調査に派遣されたエリンは驚くべき真実を知ることになります。

何を読んでいいのかわからない人も、ぜひこの本を読んでみてください。

『獣の奏者』【けもの の そうじゃ】①決して人に馴れず、また馴らしてもいけない生き物とともに生きる少女エリンを描いた異世界ファンタジー小説。②『Ⅰ 闘蛇編』『Ⅱ 王獣編』『Ⅲ 探求編』『Ⅳ 完結編』の全4巻からなる。③コミカライズやTVアニメ化のほか、英語版や中国語版などの海外翻訳もされている人気作品。

